

平成 25 年 3 月 2 日

二年前よりアメリカのマイアミやハワイで、蓄膿症について係争問題が発生しています。この地域は湿度の高い所です。室内にビニールクロスを貼っている住宅でカビが発生し、それによる蓄膿症が発生したため建築会社が訴えられているのです。アメリカはビニールクロスの使用率が 10%なのですが…。

しかし日本は 95%、今後日本では現在も増え続けていますが、蓄膿症が更に増加するであろうと高温多湿の風土である日本に言われています。

このように、日本でも今後建築会社が訴えられることになるのではと考えられます。湿度の高い地域では、やはり壁透過が必要です。ビニールクロスでは湿度は透過しません。結露も含めカビもビニールクロスの原因と言っても過言ではありません。このような家の仕上げ材(ビニールクロス)のためにシックハウスと言われるようになり、換気設備の義務化というおかしな法律を作ったのです。おかしなとはシックハウスからの抜本的対策ではなく、室内空気が悪いから外の空気を入れるという、対症療法の対策であるからです。これでは日本人の健康は守れない。

それらに対する対処の仕方など聞いて頂き、健康に過して頂きたいために「住まい教室」を開いています。「住まい教室」では「住まいとは何でしょう」「住まいを建てる目的は」などはっきりさせることが「住まいを使いこなす最大の近道」と考えています。一人でも多くの方に教室にて知識を整理して頂き、住まいの目的である「健康で楽しい生活」をして頂きたいのです。

若い方や単身赴任の方などにも、一度「住まい教室」に参加されます様にご案内頂けます様お願い申し上げます。

下関市長府港町 7-71  
福 利 産 業 株 式 会 社  
代表取締役 松倉 守  
TEL083-245-0181  
FAX083-245-3590

おすすめする住まいは  
通気断熱 WB 工法の家



形状記憶合金のバネを用いた装置を利用し、夏季は、通気口が開き外気を取り入れ、床から壁・天井に抜ける上昇気流を起こすことで、居室内の暑さや高湿度を解消し、冬季には、通気口が閉まり空気層となり2重の断熱効果を生みます。

この効果により、省エネやシックハウスの解消にもつながっています。

安心して住むことができる室内環境の家をお確かめ下さい。